

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とつむいで！

なんでも、お気軽にご相談ください

吹田民主商工会

いんぷおめ〜しょん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63383-2211
FAX (06) 63382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

100件を超える相談

沢山の「相談してよかった」の声

10月の相談の総数は116件でした。すでに解決して「相談してよかった。」の声をいただいた方や現在、解決に向けて奮闘中の方もおられます。

労働保険は新規雇用に伴う資格取得申請が2名、退職に伴う離職票の申請が5名、労働災害による休業補償が3名、新規に事務組合に加入された方が1名でした。今の最低賃金はいくらか、事務組合に加入するにはどうすればいいかの問い合わせがありました。

民商の自主共済は中小業者の助け合いの共済です。結婚祝い金1名、入院給付8名などです。記帳は、「税理士さんに頼らず自分でやりたい。」という新会員の方も含まれます。源泉は給与が変わったのでいくらの徴収額にすればいいのかわかるか、申告では年末に向けて医療費控除の計算や準備はどうすればいいかの相談もありました。

厳しい状況のなかでも生活保護を受給しながらお店を営んでいる方もいます。他にも身内の方で生活保護を受給するにはどうすればいいかの相談もあります。年金では、こどもの年金をそのままにしていたら最初は免除申請の用紙が送付されてきたが、その後は催告通知書が送られてきてびっくりしたという相談もありました。

今年も、税務調査になってどうしていいか悩んでいた業者の方が多数民商に入会されてきました。記帳や納税者の権利を学習して、税務署員と対等の立場で話し合うことができ、納得のいく結果に喜んでおられます。その他の相談では、相続や自己破産、著作権に関する事例、生命保険の解約についての相談もありました。

お気軽に相談してください。また相談希望の方を連れてきて頂いてもけっこうです。お待ちしております。

経営	計画	7	社会保障	国保	4
	その他	9		社会保険	4
	記帳	12		労働保険	18
税金	決算	9	共済	医療	1
	源泉	3		介護	4
	滞納	3		共済	10
	調査	7		健診	4
金融	融資	5	生活	生活保護	5
	新規開業	0		年金	3
	条件変更	0		その他	8
				相続 自己破産 著作権など	
				合計	116

第5回 事業計画書作成

連続講座 (2回目)

10月26日(水) 連続講座の2回目が開催されました。今回は、前回の講座から何か実践したことや感じたことはないかの交流を行いました。そして、①利益を出す方法②商品のマネジメント③決算の利益分析(数字をどうみるか)についての説明があり、15分間の考える時間を設定してふりかえりました。



後藤さん(畳製造販売)からは「事業計画をたてたことで、融資もスムーズにいきましました。従業員とも毎月の売上など数字も共有化しています。5か年計画も大切です。」岡崎さん(書籍販売)は「イベントでも会場によつて違いがあつて、テーマにそつた本や絵本などの良く売れる本、自分の商売をアピールする本などをどうもちこむか考えています。」塚本さんは「修理の仕事は働いていくから、リースは商品を提供すれば商品が稼いでくれる。」米田さんは「100人での仕事を80人でも丁寧にすることでひとりひとりの従業員に多く分配してあげることが出来る。」など、自分自身にとつての利益の出す方法や商品マネジメントを交流しました。次回はその考えを文字にしたものが交流されます。

野崎さん(塗装業)から「初めて参加させてもらいましたが、みなさん、今の若い人の教育とか、どうされているのですか。」と質問がありました。米田さん(建築業)は「他の現場に応援に行かせることもあるのですが、その現場の親方がいいというまで勝手に帰らないこと、最後にきちんと掃除をして帰ることは言い聞かせています。そのことがまた呼んでもらえることにつながっています。」と紹介されました。短い言葉の中に大切な要素がつまっていると感じました。岡崎さんは「今も昔も同じちがう？」となげかけました。豊岡さん(小売業)は「近所づきあいがいい世代の親に育てられてきた今の若い世代のことも私たちは普通の範囲IIが狭いような気がします。」と、以前、会社で働いている時に新人教育に関わっていた経験もまじえて交流し、前回の「社員のマネジメント」を深めるものとなりました。次回11月8日(火)は利益を出す方法を「何を、どの場所(地域)で誰に(客層)、どのように売るか」に支店を深めます。また、直近3年分の収支計算をそれぞれの業種の固定費と変動費を柱に数字をどう見るかを学びます。